

第五期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート  
第12回実施分（平成27年5月29日開催） 自由記載欄

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・吉祥寺図書館の指定管理者制度について、プレイスを例に取ってサービス向上して去には理由にないと感じた。プレイスは複合機能の中での図書館であり、利用者も総合的に判断していると思う。
- ・委員からあった学童クラブの子ども協会移管に関する議論の開示はもっと進めて欲しい。また父母側が学童クラブ/あそべえに期待する役割についても行政側が想定しているそれとの間にかい離があるのではないだろうか。
- ・委員の言う様に学童の委託の動きが分からない。あそべえと同時に委託する必要が分からない。
- ・学童クラブを後10ヶ月で子ども協会へ委託できるのか。長期計画レベルの話ではないけど気になる。
- ・委員の発言 学童クラブについての待機児童の問題と同じく、もっと先を見て本気でニーズ調査すべきと思います。
- ・市民会館について、母と子の教室は母親たちのサークル等を立ち上げるきっかけとなっており、次世代の担い手が育っていると思います。委員がおっしゃったプレイスの役割も市民会館はもっていると思いました。
- ・マンションの住民を含めた地域のつながりについて、が印象に残りました。地域活動を積極的に行う方々と、その活動に入れない（もしくは入る気がない）方々との溝は、マンション問題以外にもあてはまる課題だと思います。時代に合わせたコミュニティのあり方、地域力の高め方は試行錯誤しながら双方のコミュニケーションをとれる仕組みづくりをつくっていくことが大切かと思いました。
- ・PTAであそべえに関わっています。現場の方（職員、運営委員、PTA）には子ども協会委託について理解されていない、周知されていないように感じます。こんなに何も準備していないなんて、運営に支障がでないか心配です。この際、学童クラブ、あそべえ一体化の周知も兼ねて、保護者にアンケートを実施してはいかがでしょうか？正確なニーズも見えてくるかもしれません。
- ・委員が確認した「本町コミセンのことは、まず第一に本町コミセンが検討する」という考えかた。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・図書館は知の文化拠点としての運営が望ましいと考えている。ベストセラーを複数購入したり目先のサービス向上により中小書店を圧迫する弊害も検討して欲しいと思う。
- ・イーストエリアの議論の中で生活の中からの生の意見が出ていて非常に興味深かった。
- ・緑の保全に関する議論について非常に興味深く聞いて、その中で関前地区に残存する農地の取扱いについて全く話が出なかった事に違和感を感じた。
- ・桜堤の老木も切って下さい。
- ・今の時期、栗の花が臭いですが、緑が多い住環境は快適です。
- ・定年退職からがコミュニティーじゃないです。気がついたときが始めるとき。
- ・あそべえと学童クラブの目的をはっきりさせて、あそべえを保育の受け皿にならないように。
- ・民間はムダ（利益につながらなさそう）なものをすてたがります。古い人気のない本は公で運営するよりも冷遇されるのでしょうか。
- ・大人の工作室がほしい。

- ・境は地域コミュニティー空白地帯。吉祥寺と比べると…
- ・古い本はとっておかないでタイムリーな本を置くという意見がありましたが、そのような本は書店にあります。書店に無い本こそ図書館にあってほしい。
- ・マンション住民・管理組合への教育は必要。自主制は維持する必要はあるけど、災害時には必ず助け合うことになる。
- ・緑と生態系はセットで考えてほしい。
- ・市民会館について、私はコミセンにしても良いのではないかと考えます。二小エリアにはコミセンがなく、子どもの遊び場や校区の地区会等の場所としても需要があるのではないかと思います。もちろん今までの社会教育的な役割は大切にそれを活かしたコミセン作りが期待できると思います。(コミセンはもう数が増やせないので武蔵境コミセンとし、西部コミセンを西館とすれば良いと思う。)
- ・武蔵野市マンション問題、『コミュニティ形成』のきっかけのアイデアとしてフランス発の「ラ・フェット・デ・ボワゾン」[La fete des voisins] (隣人祭り) を提案します。すでにやっているマンションもあると思いますが、顔の見える関係ができ、孤独死も減ります。
- ・市のホームページやツイッター等で策定委員会の開催を知らせる際、予定している議事内容を知らせる事はできないのでしょうか？全部の傍聴は無理でも、「この分野は聴いておきたい」と思う方はいるのではないのでしょうか。そういう方が、傍聴したのを機に市政全般に興味を持つかもしれません。
- ・すごく細かい事で申し訳ないのですが…「〇月〇日本会議」の記述、「日本会議」と目に入りギョッとしました。「日」と「本会議」の間に半角スペースを入れて下さると読みやすいです。
- ・図書館について。プレイスの満足度が高いからといって、市の図書館全部をプレイスにする必要はないし、して欲しくないです。おしゃれで明るいプレイスより、普通の図書館の方が使いやすいです。(プレイスは広いばかりで、本の種類が少なく物足りない。最近の本しかない。)あと、プレイスに行って何か生涯学習や市民活動を始めたいとは思いませんよ。何か活動を始めようと思う人が、プレイスの生涯学習、市民活動のコーナーに行くのです。大抵の人は2Fまでしか行きません。図書館に求めるのは、流通にのりにくい本や、絶版になった本の保護、貸し出し(または閲覧)です。浮ついて満足度で計らないでください。一館だけで充分です。
- ・マンションの問題について。最近の大型マンションは建物自体が外部と断絶された造りになっており、地域とつながりを持ってない。マンション住民自身、地域とつながりを持つのを面倒だと思っているのではないかと？市からは介入できないとの事ですが、防災の面から多少は口出しする必要はあると思います。地域側の人間からすると、困ったときだけ助けを求められても困ります。
- ・コミュニティ活動について。「仕事があるから、今は参加できない」は違います。コミュニティをまわしているのは退職後の方ばかりではありません。自営業者、専業主婦、学生、こういった方の自己犠牲(活動中は稼げない、家事、育児後まわし、勉強後まわし)で成り立っています。自己犠牲が良いとは思いませんが、コミュニティ外で働いているからといって「仕事があるから、今は参加できない」という考え方はおかしいです！有給休暇があるんだからいいじゃんと思います。
- ・建設的で真摯な意見交換を行っていただいていると思います。そのことに敬意を表しつつ、いくつかコメントします。
- ・学童とあそべえについて。委員の言われるように、市の内部でどこまで検討がすすんでいるのかが明らかにされなければ、今後についての検討は難しいと思います。担当部署とのヒアリングに期待すると共に、その内容が公開の委員会でもオープンな形で検討されるのがよいと思います。

- ・市民会館について。プレイスに市民活動支援と生涯学習の機能を入れ、充実させつつある状況で、市民会館とプレイスの機能の差異化はできておらず、今後も難しいのではないかと思います。当面は現状を維持し、利用状況の推移を見守りつつ、元々の図書スペースや市民の閲覧スペース、及び潤沢な保育スペースの利活用を検討する、というのはいかがでしょうか。
- ・緑について。例えばプレイスに残された木にしても街路樹にしても、表面に土が出ている部分は1m四方位で、そこも通る人に踏まれてしまい、木にとっては苦しいのではないかと思います。木を大事に生かす、という考えを取り組みではなく、生きにくい状態にしておいて、老木化したら植えかえる、というのは人間中心の発想だと思います。緑を大切に作る心と行動をどう培うかが大切で、境で雑木林の保全に取り組む活動などから、全市的に学べる仕組みが考えられてもよいと思います。
- ・「マンション問題」について。委員の言われるように、マンションの住人（に限りませんが）と地域とのつながりは、地道につくっていくしかないと思います。一つには、地域毎に地域の状況に詳しい人—コミセンに長くかかわっている人など—を「コミュニティ・コーディネーター」として依頼し、行政の担当部署の職員と一緒に地域（フォーラム）づくりに取り組むのはどうかと思います。「地域の市民の活力を引き出す」「行政と一緒に動けば信用があって動きやすい」「行政の担当者にも地域の状況が伝わり一緒に考えてもらい易くなる」等のメリットがあります。もう一つは、転入時に地域のコミュニティセンターにつなぐ工夫を考えて、転入者が地域情報（地域に詳しい人）につながりやすい仕組みを作ってはどうかと思います。単身者などでも、知って得をする地域の情報はありますから、そこで接点が作れないかと思いますが、いかがでしょうか。ご検討下さい。よろしく申し上げます。

（※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。）